

【施策】

- ・市民への観光アンケート調査
- ・イベントの見直しと年間計画表の作成
- ・地域の行事、お祭り暦の作成
- ・魅力ある仙北市の写真募集と写真展の開催

■ 眠っている魅力を掘り起こす

仙北市には、地元の人にも気づいていない資源があります。自然景観、名所、旧跡や地域の良さを残した伝統的なお祭りや、この地で伝統を受け継いできた人、職人、語りべ、案内人など、これら眠っている魅力を掘り起こします。

また、サクラ、ミズバショウ、カタクリは、現在知られている場所以外にも自生、群生箇所が見られることから、これらの調査を行います。

【施策】

- ・自然景観、地域の行事、お祭り等の発掘調査
- ・語りべ、案内人等の発掘、育成
- ・観光アドバイザーの設置
- ・リーダー的人材の育成

② 新たな観光メニューの創出**■ いつでも楽しめる魅力を創り出す**

仙北市にある魅力に、それぞれの季節感、特長を活かしたモデルコースの設定やイベント等を積極的に企画、実行します。

また、デメリットとして捉えられている雪・冬を観光の主役として位置づけ冬期の魅力を増進させ、通年型観光をめざします。このほか、団塊の世代をはじめとした各年代別に楽しめるコースや、仙北市の魅力をじっくり、ゆっくり味わっていただけるメニューづくりを行います。

【施策】

- ・季節、目的、年代別観光モデルコースの開発
- ・目的別マップの作成
- ・宿泊、連泊型商品の開発
- ・ホワイトツーリズムの推進

■ 新しい魅力を創り出す

仙北市にある魅力を見て、体験し、今以上に楽しんでいただける工夫をします。現在行われているお祭りに準備段階から参加できる体制をつくり、地域の人々との交流を深める機会を設けます。

また、コンベンション、合宿ゼミの受け入れ、桜木や田んぼのオーナー制度を実施することにより、仙北市と観光客の結びつき、繋がりを深め、何度も訪れていただける機会をつくれます。

【施策】

- ・参加型お祭りの実施
- ・コンベンション、合宿ゼミの誘致
- ・桜木や田んぼ等のオーナー制度の実施

③ 観光資源のネットワーク化

■ 市内をめぐる

仙北市には、同じような性格の魅力ある資源が点在しています。例えば桜は市内の各所に見られますが、花の見頃は違ってきます。訪れた方へ見頃の場所を順番に案内することによって、長い期間楽しんでいただけるとともに、新しい発見や出会いの機会を作ります。

そのためには観光地間のネットワークを構築し、情報の共有や繋がりを強固にして、訪れた方が限なく市内を周遊できる体制を構築します。

【施策】

- ・周遊コースの設定
- ・スタンプラリー等の実施
- ・観光地間の連携強化

■ 県内外をめぐる

仙北市をさらに魅力のある観光地にするためには、仙北市だけではなく大曲仙北地域、秋田県、東北の魅力を高めることが必要です。一つでは小さい誘客力でも、まとまれば大きな力になることから、今後も広域観光の推進を目的とした団体により、近隣の県や他自治体との連携を強化します。

【施策】

- ・広域観光協議会の活動促進
- ・他観光地とのネットワークの形成
- ・広域観光コースの開発

(2) 観光基盤の整備と交通の充実

① 自然環境、農村風景の保全と歴史文化の継承

■ 景観を守り、育てる

仙北市の大きな魅力の一つは自然の景観です。田んぼや萱葺き屋根のある空間を「今のまま」残し、景観を構成する要素を適切に管理しながら必要な部分は整備を行い景観を守ります。そして、住んでいる人々が地域の景観の良さに気づき誇りを持って、自然景観や農村風景を守ることの大切さを啓発します。

また、自然景観に配慮した、景観に溶け込むような花の植栽、緑化活動など、地域を花や緑で飾る活動を推進します。

【施策】

- ・ 自然景観の保護と整備
- ・ 農村風景の保存啓発
- ・ 建造物の保存
- ・ 花や緑のまちづくり

■ 環境を守る

環境を守ることは、それを支えている自然を守ることです。普段の生活の中でゴミを出さないことや水源を守ることなど、そこに住んでいる一人ひとりが環境に対する意識の高揚を図る必要があります。

武家屋敷周辺では地域が主体となった清掃活動によるゴミのないきれいな環境づくりが、訪れる方々から好感をもたれています。地域の協力を得ながらこのような清掃活動の輪を広げるなど、環境を守る活動とゴミのない美しいまちづくりを推進します。

【施策】

- ・ 自然環境保護の啓発
- ・ ゴミのないまちづくりの啓発
- ・ クリーンアップ、ゴミ持ち帰り運動の実施

■ 文化財を守る

仙北市の文化財は、わが国を代表する文化財として、その重要性を再認識し、今まで以上に保護保存に努めるとともに、無形民俗文化財の保護や後継者対策、他地域に無い民俗文化財の記録保存についての取り組みも推進します。

また、武家屋敷周辺では、年々飲食店、土産物店等が増加するなど保存地区内の景観等に変化が見られることから、本物の武家屋敷景観が損なわれないよう地域住民との対話を大切に、保存整備を進めます。

【施策】

- ・文化財の保護と後継者の育成
- ・埋蔵文化財の調査と保存
- ・桜の保護管理と武家屋敷の樹木剪定管理
- ・歴史文化を守る活動団体への支援

■ ふるさとを守る

自然景観や歴史文化は、先人から代々受け継がれてきた宝です。これを子供たちや次の世代に受け継がせるために、ふるさとの良さ、歴史を伝えていくことが大切です。学校や、地域の中で子供たちが地域の歴史文化を学び、ふるさとの良さを感じ取れる機会を作りサポートしながら、郷土に誇りを持ちふるさとを思う心を育てます。

【施策】

- ・ふるさとの良さや歴史の教育

② 観光施設の整備

■ 駐車場、トイレ、案内板を整える

駐車場やトイレの良し悪しは、観光客へ与える印象が大きいことから、気持ちよく利用できる方を講じます。このため、施設の清潔快適さを保つとともに、老朽化している施設の維持改修についても利便性を考慮しながら整備を進めます。

このほか、観光案内板や説明板についても利用者に対してわかりやすさと見やすさを心がけ、適切な配置や整備を進めます。

【施策】

- ・駐車場や公衆トイレの調査、整備
- ・案内板や説明板の調査、整備

■ 観光施設を整える

仙北市内には遊歩道、登山道、サイクリングロードや資料館など様々な施設があります。中には老朽化している施設もあり、観光客が安全に楽しく施設を利用できるように適正な維持管理を行うとともに、設備や内容も何回来ても飽きさせないよう内容の充実と更新を図ります。

また、長時間滞在していただくために、角館のお祭りをメインにした体験型観光施設の建設に向けた取り組みや、田沢湖畔、かたまえ山周辺などの整備を推進します。

【施策】

- ・観光施設の適正な維持管理と機能の充実
- ・角館曳山会館（仮称）等の建設

■ 誰にでもやさしいまちをつくる

観光客の中には、最近お年寄りや体に障害をもった方々が増えてきております。こうした方々のためのトイレや駐車場などのバリアフリー化は進めてきてはおりますが、まだ十分ではありません。

これからもお年寄りや障害者の皆さんが楽しく、安全に観光ができるように観光施設のバリアフリー化を推進します。

【施策】

- ・観光施設バリアフリー化調査
- ・道路や観光施設の段差解消
- ・高齢者、障害者が安心して利用できる休憩所の整備
- ・車いすの配備促進

③ きめ細かな交通環境の整備

■ 交通環境を整える

国道、県道等の幹線道路、市道の整備は順次進めてきておりますが、引き続き国道、県道の改良促進について関係機関に要望を行っていきます。

また、目的地までの交通情報を的確に旅行者に提供するための案内システムや駅、空港からのモデルコース、参考料金を設定するなど、わかりやすく旅行しやすい交通環境を推進します。このほか、観光客の利便性、快適性を高めるため路線の見直しと新たな観光ルートの開発に努めます。

【施策】

- ・国道、県道の改良要望
- ・道路交通情報の提供
- ・公共交通機関を利用したモデルコースの設定
- ・新たな観光ルートの開発

■ 三次交通を整える

仙北市内の観光地と観光地を結ぶ三次アクセスは公共交通機関が主な手段ですが、これは訪れる方のみならず、地域に密着した足であり、利用しなければ無くなる恐れがあります。

地域の足を守るための公共交通機関の利用促進と、利便性の高いタクシーの低料金化等を促す取り組みを推進します。

また、事業者が行う、観光地間を結ぶバス運行事業等への支援も引き続き行います。

【施策】

- ・公共交通機関の利用促進
- ・タクシーの低料金化促進
- ・企画バス等への支援

■ 秋田内陸縦貫鉄道を活用する

秋田内陸縦貫鉄道は、仙北市と北秋田市を結ぶ重要な交通機関であると同時に、沿線は自然豊かで四季のすばらしい景色を車窓から眺めることができるなど、魅力ある観光資源です。

乗車人数が減少する中で、観光を目的とした利用者数の割合は年々増えているため、秋田内陸縦貫鉄道の利用促進と魅力を活用した誘客に努めます。

【施策】

- ・ 秋田内陸縦貫鉄道沿線関係団体との連携
- ・ 秋田内陸縦貫鉄道乗車運動の促進

(3) 「おざってたんせの心」による受入態勢づくり

① ホスピタリティーの向上

■ 心でもてなす

訪れた方に、「来て良かった」と思ってもらうためには、日頃から飾らない自然な形でのおもてなしの気持ちを表すことが重要です。訪れた方に対して仙北市や地元の人々がよい印象を与えることは、リピーターの増加として跳ね返ってきます。

ホテル、旅館、お土産店など直接観光客と接する観光事業者だけでなく、仙北市一丸となった「おざってたんせの心」による接客マナーの向上を図ります。

【施策】

- ・ 接客マナー講習会の開催
- ・ 接客に関するガイドラインの設定

■ 食でもてなす

旅行先での楽しみに「食べる」ことがあります。おいしい、珍しい食べ物に出会ったときの感動は、長く印象に残り周りの人に伝えたくくなります。このため、食事の良し悪しでその食事を提供した施設や観光地のイメージも変わり、リピーターや新規観光客の増減につながっていきます。

地場産の食材を使用した料理、郷土料理などほかの地域では味わえない食事の提供に努めることにより「食」でのおもてなしができるよう、宿泊施設など食事提供施設への協力と支援を行います。また、地元食材を使ったお店が一目でわかる制度を創設します。

【施策】

- ・ 地場産食材の使用普及
- ・ 地場産食材、特産物を活用したイベントの開催
- ・ 地場産食材を使用した飲食店の認定制度の実施
- ・ 郷土料理の開発と普及

② 観光客にやさしい案内

■ 市民総出で案内する

初めて来たまちで地元の人たちが気軽にあいさつをしたり、尋ねられたことに親切丁寧に応えることで、市民のあたたかい気持ちが相手に伝わります。

こういう気持ちをもって、観光客から何を尋ねられても答えられる、更に一步進んで案内や地元をPRできる、市民一人ひとりが観光案内人と称されるように努めます。

また、今までの観光パンフレットは観光客サイドに立ったものでしたが、市民が観光客に適切にわかりやすく案内できるような、ガイドブック、マップを作成します。

【施策】

- ・ 市民への旬な観光情報の提供
- ・ 市民向けガイドブック、マップの作成
- ・ 市民地元を知る観光講座の開催

■ 観光ガイドを育てる

武家屋敷を中心に、まちの歴史や文化を説明しながら観光客を案内する「歴史案内人」や秋田駒ヶ岳、乳頭山など、北東北の山々をガイドする「山の案内人」が活躍しています。

こうした方々のほかにも地元の歴史、農業や林業、商工業などの分野に精通した方々、あるいは福祉の面などで活躍している方々がたくさんおります。こうした方々を見い出して観光ガイドとして育成、支援を行います。

【施策】

- ・ 観光ガイドの育成と支援

■ 安心、安全なまちをつくる

訪れた方にとって、旅行中事故に遭わず病気や怪我をすることもなく無事家に帰ることは何よりも重要なことです。迎え入れる側でも訪れた方が安心して観光地を安全に巡ることができるよう最善の配慮をすることが必要です。

見知らぬ場所での急病や事故、また、地震、火災など不測の事態に備え観光客が安心して観光できるようなまちづくり、態勢づくりを推進します。

【施策】

- ・ 武家屋敷通り歩行者安全対策
- ・ AEDの適正な配備
- ・ 観光地、観光施設での避難訓練